

# ISO/TS 20224-11 : 2024

## Molecular biomarker analysis -- Detection of animal-derived materials in foodstuffs and feedstuffs by real-time PCR -- Part 11: Pigeon DNA detection method

### 分子バイオマーカー解析ーリアルタイム PCR による食品・飼料中の動物由来物質の検出ー第 11 部 : ハト DNA 検出法

#### 1. 規格の概要

本技術仕様書 (TS) は、食品及び飼料に由来するハト特異的 DNA の定性的検出のためのリアルタイム ポリメラーゼ連鎖反応 (リアルタイム PCR) 法を規定している。この方法は、カワラバト (*Columba livia*) と他の家禽肉 (ガチョウ、アヒル、ウズラ、キジなど) を区別するために適用できる。関連するマトリックスから適切な量の PCR 増幅可能な DNA を抽出する必要がある。

#### 2. 検討状況

2023 年 5 月に新業務項目提案が承認され、2024 年 2 月に初版が発行された。

#### 3. 規格の構成 (仮訳)

まえがき

1 適用範囲

2 引用文書

3 用語及び定義

4 科学的根拠

5 試薬及び材料

5.1 一般

5.2 PCR試薬

5.2.1 PCRマスターミックス

5.2.2 オリゴヌクレオチド

6 装置

6.1 リアルタイムサーマルサイクラー機器

7 手順

7.1 試薬/サンプルの用意

7.2 DNA抽出液の用意

7.3 PCRのセットアップ

7.3.1 反応混合液

7.3.2 PCR制御

7.3.3 リアルタイムPCRサーマルサイクラープレートセットアップ

#### 7.4 温度-時間プログラム

### 8 許容/拒否の基準

#### 8.1 一般

#### 8.2 識別

### 9 妥当性状況とパフォーマンス基準

#### 9.1 一般

#### 9.2 ロバストネス

#### 9.3 再現性

#### 9.4 感度

#### 9.5 特異性

### 10 実験結果

附属書A (参考) GenBank RefSeq ゲノム (refseq\_genomes) 及び全ゲノム ショットガン  
コンティグ (wgs) のクエリに対する BlastN+2.12.0 の結果

附属書B (参考) ハト科と利用可能な公開ゲノム配列で確立された系統図

参考文献